

日本ガイシ株式会社が発行するグリーンボンドへの投資について

本学園は、このたび、日本ガイシ株式会社（以下、「同社」という）が発行するグリーンボンド（以下「本債券」）への投資を決定しましたので、お知らせいたします。

同社が属する NGK グループは、自然環境と人間が共生する「カーボンニュートラル」、安全で便利・快適で健康に暮らせる「デジタル社会」関連を今後の成長分野と見据え、これらの関連製品が2050年には同社売上の80%を占めるように事業展開していきます。今後10年間で総額3,000億円の研究開発費を確保し、その80%を両分野に配分する予定です。通過点となる2030年の目標として、新規事業の売上高1,000億円を実現する「New Value 1000」を掲げました。将来有望な開発テーマに重点的に経営資源を投じ、新製品・新規事業を創出していきます。また「NGKグループ環境ビジョン」では、事業活動を通じて社会の要請である「カーボンニュートラル」「循環型社会」「自然との共生」の実現に寄与することを定めています。本債券発行による調達資金は、カーボンニュートラル関連の研究開発および同社グループの事業活動における脱炭素化に資するプロジェクトへの投資等に充当される予定です。

本学園は2020年4月に公表した「第1期（2020年度－2023年度）中期経営計画」の中でSDGsへの取り組みを重点項目として掲げています。本債券への投資は、同社の取り組みを通じて、その達成に寄与するものと考え、投資を決定しました。

今後も、本学園は学校法人としての公共性・公益性に鑑み、適切なリスク管理のもとで、本債券をはじめとしたESG債への投資を継続的に実施することで、社会的責任を果たして参ります。

※「グリーンボンド」とは、企業や地方自治体等の発行体が、地球温暖化をはじめとした環境問題の解決に資する事業に要する資金を調達するために発行する債券です。

以上